

あした
未来のために今やろう！
TaN Think
Talk
about
Now
Vol.10 2020 Oct

沖縄県議会議員

あらかき

よしとよ

新垣 淑豊

議会レポート

今月の内容 / YOSHITOYO's Questions



議会で取り上げた質問について「なぜ？」その問題を取り上げたか「どのように」沖縄県が考えているかなどをお伝えしていきます。

県民と県民そして県民と議会や沖縄県が繋がるような情報をお伝えしたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通していただき、ご意見をいただければ幸いです。

一般質問

01 首里城火災の影響はこのようなところにも！

首里城の火災において、組踊 300 周年記念のイベントが予定されていました。残念ながら火災によりそのイベントも開催されず。おまけに使用する機材が焼失してしまいました。金額としては、およそ 3500 万円！！火災の責任の所在がはっきりしないために、事業者が保険を利用したくてもできない状況です。

県として再発防止検討委員会という第三者委員会を設置しているの、責任が誰に

あるのかを決めるのは県であるはず。機材の所有者に対して「県がしっかりとフォローすべきである」と、質問を通して伝えたと、知事からも「見えないところに実際に被害に遭っている人が何らかの形でサポートできないかと指示を出したところ」と答弁がありました。そして、たらい回しにならないように、どの部署が責任を持って窓口となるかということまでの確認をしたところ、文化観光スポーツ部が

窓口となり、首里城の管理を所管する土木建築部との調整をしていただく道筋ができました。

火災からの復興だけでなく、まだ十分にその影響を受けて現在困っている人がいるということが浮き彫りになりましたので、その助けになるよう取り組んでいきたいと思えます。



一般質問

02 沖縄振興特別措置法が切れてしまいますよ！

沖縄では復帰後から沖縄振興開発計画、沖縄振興計画と進められていますが、その根拠となる法律が沖縄振興特別措置法（沖振法）です。

現計画には一括交付金や他にも税制優遇措置などが盛り込まれています。復帰特別措置法と合わせて、今の沖縄の発展に寄与しているものです。今はコロナウイルス感染拡大によって観光客も少なくなっていますが、その以前の年間 1000 万人の入域にも大きく関係していました。

2022 年の 3 月には沖振法の期限を迎えるということになっています。

これまでも同法の延長が必要であることは認識として県も同じくしておりますが、他地域の国会議員にも「自分の選出区がコロナ禍だけでなく、以前から地域の人口減や経済の衰退と課題が多く、沖縄のように人口増や観光の増により活力がある地域の振興が必要なのか？」と言う人もいることから、県が市町村や各団体から意見を聴取し、しっかりとした計画を作り、沖縄



の置かれている、歴史的・地理的・自然的・社会的な特殊事情を国へ伝え調整をしていく大事な時期であるということ議会を通してお伝えしました。

一般質問

03 過疎地に対してどう対応するのか？

今年度末、2021 年 3 月 31 日で過疎地域自立促進特別措置法（以下、過疎法）の期限を迎えます。

4 月からは新しい法律ができることになり、現在県内に市町村 18 ある団体のうち、かなりの数の団体（現状でいけば残るのは 10 団体以下になると言われています）が対象から外れる可能性があります。

そうすると各市町村で様々な事業に使える上に、金額の 7 割を交付金として国から補填してもらえらる有利な条件の起債（債権

の発行すなわち借金）をすることができなくなります。

知事や沖縄県過疎地域振興協議会の宮里会長（座間味村長）と知事が新法に移行してもその適用となるように、自民党本部へ要請に行っています。

現在、過疎地の条件から脱したと判断されることは良いことかもしれませんが、その先を考えると、まだまだ離島は人口の減少について懸念があります。

沖縄県は多くの離島によって形成されてい



ます。離島の発展が沖縄県の発展につながるという意識は県民同じだと思います。今年 12 月までには国としての方向性が示されますので、それまでにしっかりと県として再度の要請をしていかなければなりません。



首里城水辺の清掃にて



座間味村訪問、宮里村長と

ご挨拶

2020年6月7日、第13回県議会議員一般選挙において那覇市・南部離島区より選出させていただきました。

首里地域から32年ぶりの自民党県議として県政へと臨みます。コロナ禍での生活の安定に加え、昨年10月末の首里城焼失からの復興や首里の文化史跡の整備など県の課題も多くあります。

那覇市議会から県議会へとステージが変わり、また選挙区の範囲も那覇以外に久米島・粟国、座間味、渡嘉敷、渡名喜、北大東、南大東と広がりましたが、「地域の声を届ける！」その基本は変わることなく活動をしてまいります。

今後ともご意見とお力添えをよろしくお願いたします。



はじめまして
3分で読めます
よしとよ新聞

[取材依頼募集中!]



特別定額給付金	実施中	一律1人当たり10万円 申請は郵送又はマイナポータルで
子育て世帯への臨時特別給付金	実施中	児童手当受給世帯に対して 子ども1人当たり1万円 改めての申請不要
ひとり親世帯への臨時特別給付金	実施中	児童扶養手当受給世帯等に対して 5万円(第2子以降は±3万円) さらに、収入減の場合±5万円 クリックでHPに掲載

政府の支援策の詳細はこちらにアクセス▶



新型コロナウイルスでお困りの皆さん!!

ヨシッ!ボクがいろいろな支援策を紹介するトヨ。

子育て世代、学生、雇用維持が難しい人、みんな自分に合った支援策を活用するトヨ。

インターネットのない人やよくわからないときは新垣よしとよ事務所へ電話するトヨ!!

詳しくはこっちを見るトヨ。

新垣よしとよ県議との出会いもお子様つながりがきっかけでした、地域のために活躍することでおふたりは深く意気投合されたそうです。

【地域のつながりが沖縄の未来を担う】

未収録部分を公式ブログに掲載しております。



前田さんは兵庫県の山あいの町で生まれ育ち、大学で沖縄へ、ご結婚、お子さんの誕生や様々なご縁もあり首里に越されたそうです。今では旗頭やPTAなど地域コミュニティの中心的存在となつていらつしやいます。年中行事にも積極的に参加され、その強化に努めてこられました。

しかしながら天候や首里城火災について新型コロナと3年開催できず、なかなかその機会を作るのが難しい状況でしたが、未来のためにも、これまでの活動を継続させなければならぬ、できることから行動されることでした。

前田さんの物腰は静かですが熱い思いをうかがうことができました。

記念すべき第一回、前田暁寛さんにインタビューをお願いいたしました。

新型コロナウイルスの影響で中止予定の琉球王朝祭り首里(旧称 首里文化祭)、今後に向け実行委員としてのお話をお伺いしたところ、活動を通じた地域の人と人とのつながりを大切に、首里の未来へと続くとても素敵なものでした。

琉球王朝祭り首里についてうかがうと、旗頭ができないこと自体より、この活動が地域のつながりの中心にあって、それがなくなることに、より人と人とのつながりも希薄になっていく、そこに強く危機感を持たれていました。

地域の子供たちはみんなで見守る、その子たちが成長していく姿をみると感慨ひとしおのこと。

首里の魅力は人であり、ここから沖縄の未来が見えてくる。



第1回

事務局わたなべの
首里人リレーインタビュー

前田 まえだ
あきひろ
暁寛さん
●好きな食べ物 ヒージャー汁
●お住まい 首里桃原町



駐車場は周辺コインパーキング等をご利用ください。

新垣よしとよ事務所のご案内

OPEN 月曜日～土曜日
月曜日 14:00～18:30
火～金曜日 9:30～18:30
土曜日 10:00～14:00 (よしとよ商店)

休み 日曜日、年末年始
毎月最終月曜日

- ご相談、お困りごとはお気軽にご連絡ください
- 土曜朝市「よしとよ商店」新鮮卵やお野菜あります!
- 貸しスペースとしてご利用いただけます

